

【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネットを経由した仲介システムへWEBブラウザにて入力可能とし、購入者と売渡者から双方の契約情報を完全に突合させる。仲介システムが発番したIDを双方に発信し、今後の入力確認の際に入力してもらうことより、購入者と売渡者の特定に使用する方法。

【請求項2】 購入者から決済仲介機関へ代金送金後、決済銀行から受取案内とIDを受取り次第、仲介システムにて自動確認を行い、売渡者へ商品発送を請求する電子メールを自動発信する方法。

【請求項3】 売渡者から発送連絡を受取り次第、購入者へ発送請求を電子メールにて自動発信する方法。

【請求項4】 購入者から商品受取りの連絡を受取り次第、仲介システムから購入者の決済銀行へ代金送金指示を自動的に行う方法。

【請求項5】 商品未発送時に、購入代金を購入者へ返却指示する方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、ネットオークション（インターネット上で商品を表示し、不特定多数の申込み者の中から取引条件が一致するものが決定され、売買が成立する方法）で成立した契約の後、代金や商品の不正取得を防止する為に、購入者の商品取得および売渡者の代金取得を確実にする方法を提供する。

【0002】

【従来の技術】 課題を解決するための発明として、特開平10-149394号公報によれば、通信ネットワークを介して、購入者および売渡者の双方に代金情報の電子データを格納できる情報処理装置が必要である。

【0003】

【発明が解決しようする課題】 仲介システムとの連動システムとして、決済・商品情報を電子データとして格納する情報処理装置が無くても、広く普及しているWEBブラウザおよび仲介システムからの連絡手段を受ける電子メーラーがあれば、代金や商品の不正取得を防止する為の仲介システムを利用した電子取引方法を提供する必要がある。

【0004】 様々な人が利用しているインターネットを利用するので、不正な購入者および売渡者が仲介システムへ正当な権利者に成りますとできないようにする必要ある。

【0005】 購入者および売渡者の双方に決済情報あるいは商品情報を情報処理装置上に保持することなく、仲介システムへの入力だけで、代金あるいは商品の不正取得を防止する必要がある。

【0006】

【課題を解決するための手段】 仲介システムはWEBサーバとしての機能を有する。この為には広く市販されて

いるWEB対応サーバアプリケーションによって実現する。

【0007】 購入者および売渡者が売買商品情報と決済情報を仲介システムへ入力し、入力情報が整っていれば、仲介システムはIDを発番し、表示する。そのIDが本人を特定するIDとなる。IDは乱数発生によって発番される。

【0008】 購入者は購入者の決済銀行に対して、仲介システムを保持している決済仲介機関の決済銀行へ購入代金の送金依頼を行う。その際、上記IDを付記する。

【0009】 入金情報を決済仲介機関の決済銀行より受け、送金元の情報（IDを含む）から仲介システム上のの購入者情報とを突き合わせ、一致していることを確認し、入金済の状態にする。

【0010】 仲介システム上の購入者情報が入金になると、売渡者へ商品発送請求の電子メールを自動的に送信する。

【0011】 売渡者は電子メールを受取った後、商品を発送する。売渡者は仲介システムへ商品発送した旨および発番されたIDを入力する。仲介システムは入力IDが正しいことを確認し、売渡者情報を発送済の状態にする。

【0012】 仲介システム上の売渡者情報が発送済になると、購入者へ商品発送済の電子メールを自動的に送信する。

【0013】 購入者は商品を受領した後、仲介システムへ商品受取と購入者IDの入力を行う。

【0014】 仲介システムは商品受取入力を受付後、売渡者の決済銀行へ代金を送金するように、決済仲介機関の決済銀行へ指示情報を渡す。仲介システムは売渡者情報を代金送金済状態にする。

【0015】 売渡者からの商品発送が行われないとき、決済仲介機関は代金の返却を行う為、仲介システムへ代金返却入力を行うと、決済仲介機関の決済銀行から購入者の決済銀行へ送金指示が行われる。

【0016】

【発明の実施の形態】 以下、本発明の実施の形態を説明する。

【0017】 図1は、本発明に関わる決済仲介機関の仲介システムとしてのWEBサーバ（仲介サーバ）と購入者および売渡者のPC端末とインターネットによって構成されることを表すものです。決済仲介機関の決済銀行とのデータ授受に関しては電子媒体を介することを表しています。決済仲介機関は決済銀行であってもよい。

【0018】 購入者のPC端末（2001）および売渡者のPC端末（1001）はパーソナルコンピュータでアプリケーションとしてWEBブラウザおよび電子メールの送受信のソフトウェアで構成される。

【0019】 仲介サーバはWEBサーバの機能を有し、購入者管理情報および売渡者管理情報を保持できる記憶

装置(3002)を保持している。処理部分として購入者および売渡者からの入力受付・電子メールの送受信・IDの発番処理・決済銀行とのデータ授受処理をする為の情報処理装置(3001)で構成される。

【0020】＜仲介サーバの処理フローの説明＞図2は仲介サーバの処理フローを表したものです。購入者から商品名・売渡者等の決済必要事項が入力されることで購入者からの受付処理が開始される。その際にシステムから購入者を特定するIDが発番され、受付画面に表示される(5001)。

【0021】売渡者から商品名・購入者等の決済必要事項が入力されることで売渡者からの受付処理が開始される。その際にシステムから売渡者を特定するIDが発番され、受付画面に表示される(5002)。

【0022】購入者からの決済情報を元に、売渡者の登録受付が存在するかどうかチェックし、存在したとき、内容のチェックを行う。内容の不一致のとき、不一致のメッセージを購入者へ送信する(5003)。売渡者からの決済情報を元に購入者の登録内容が存在するかどうかチェックし、存在したとき、内容のチェックを行う。内容が不一致のとき、不一致メッセージを売渡者へ送信する(5003)。

【0023】双方の受付内容が一致したとき、依頼が成立したこと旨のメッセージを双方(購入者および売渡者)へ送信する。同時に購入者へ代金を決済仲介機関の決済銀行へ入金するようにメッセージを送信する(5004)。

【0024】決済銀行からの入金連絡を待つ(5005)。

【0025】決済銀行からの入金情報をチェックし、金額の正当性を判断し、不足ならば、不足金額の請求をさらに要求するメッセージを送信する。その後以降の処理に進まない。過分ならば、過分の旨のメッセージを送信し、以降の処理に進む(5006)。

【0026】代金の入金額が充分であったとき、売渡者へ商品を送送するようにメッセージを送信する(500

7)

【0027】売渡者は商品発送をしたら、仲介システムへ発送情報が入力される。その際に、売渡者を特定する依頼受付時に発番されたID、および売渡者が登録したPASSWORDが必要となる(5008)。

【0028】発送情報が入力されると、購入者へ発送済みのメッセージを送信する(5009)。

【0029】購入者は商品を受取った後に、商品受領の情報を仲介システムへ入力する。その際に、購入者を特定する依頼受付時に発番されたID、および購入者が登録したPASSWORDが必要となる(5010)。

【0030】売渡者の決済銀行へ商品代金を送金するように決済仲介機関の決済銀行へ送金指示を行う(5011)。

【0031】売渡者へ代金の送金指示をした旨のメッセージを送信する(5012)。

【0032】購入者から過分に代金が送金されているとき、代金差し引き後の過分金を購入者へ返却する為、決済仲介機関の決済銀行に送金指示する(5013)。

【0033】購入者へ過分金を決済銀行に送金指示したことを伝えるメッセージを送信する(5014)。

【0034】

【発明の効果】以上のようにより、本発明によれば、購入者からの代金送金を決済仲介機関の仲介サーバを経由することによって、売渡者が代金を取りはぐれたりすることがなくなる。また、購入者が商品を受取る前に、払い込むことをしないため、商品を受取れないことを防止する。

【図面の簡単な説明】

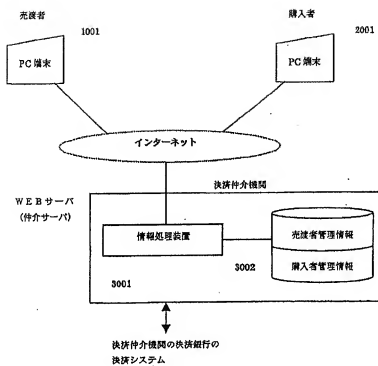
【図1】本発明のシステム構成図である。

【図2】仲介サーバの処理フローを表した図である。

【符号の説明】

1001：売渡者のPC端末、2001：購入者のPC端末、3001：仲介サーバの情報処理装置、3002：売渡者の商品・決済情報と購入者の商品・決済情報を保持する為の記憶装置

【図1】



【図2】

